

IV 保健対策

保健対策課

保健対策課は専門的な対人保健サービスの提供と、保健医療を中心とした地域ネットワーク構築を役割として、感染症予防、結核予防、障害児（者）保健、障害児（者）歯科保健、難病対策、精神保健福祉及び医療費助成等の事業を担当した。

1 感染症予防

最近の保健医療を取り巻く環境の変化を踏まえ、総合的な対策を推進するため、平成18年12月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が改正され、平成19年4月1日（一部は6月1日）に施行された。

主な改正点は生物テロ防止の観点から病原体の管理体制の確立や、感染症をめぐる環境の変化から感染症類型の分類の見直し、また結核対策における見直しの必要性から結核予防法が廃止され「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「法」という。）に統合された点である。八王子市保健所では平成16年（当時は東京都八王子保健所）から感染症対策専門の担当を設置し、最新の感染症動向を踏まえた対策を実施している。

(1) 感染症予防

感染症発生時には法に基づいた疫学調査（法第15条）や健康診断（法第17条）等を行い、感染拡大防止や二次感染予防、感染症に対する普及啓発等を行った。また、平常時から、感染症発生動向調査事業や小児感染症サーベイランス事業により、感染症の発生状況を迅速に収集し、医療機関等に情報を発信し、感染症の流行時等には、必要に応じ学校等への周知とともにホームページや広報などで市民への注意喚起を行った。

ア 感染症届出状況

法第12条に基づく八王子市内の医療機関からの平成21年度届出件数は165件であった。

感染症発生件数（表1-1）

区分	疾 患 名																											
	一類			二類				三類			四類		五類				新型インフルエンザ等感染症											
年 度	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう（天然痘）	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	鳥インフルエンザ（H5N1）	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	レジオネラ症	デング熱	アメーバ赤痢	後天性免疫不全症候群	梅毒	ウイルス性肝炎	風しん	麻疹	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	ジアルジア症	（新A型インフルエンザ）
総 数	—	—	—	—	—	—	—	—	113	—	—	—	1	8	—	—	1	1	2	4	1	2	1	2	1	1	—	27

(注) 四類、五類については、届け出のあった疾患のみ掲載

イ 感染症の診査に関する協議会

法に基づき、勧告による入院の期間の延長、就業制限、結核患者等の医療費公費負担について、保健所に設置された「感染症の診査に関する協議会」で必要な事項を審議させ、その意見を聞くこととされている。平成 21 年度は 46 回開催した。

平成 21 年度 協議会開催状況（表 1-2）

区 分	定例協議会	緊急協議会
開催回数	24 回	22 回

(注) 定例協議会は原則第 2、第 4 金曜日に開催

ウ 積極的疫学調査

感染症発生時、法第 15 条に基づく積極的疫学調査を行い、感染経路の特定や二次感染の予防に努めた。また、必要時には調査の一環として検便（ノロウイルス）も行った。

積極的疫学調査実施状況（表 1-3）

区 分	麻疹	ノロウイルス	赤痢	腸管出血性大腸菌	結核	レジオネラ	インフルエンザ	疥癬	その他	計
高齢者福祉施設	—	8	—	—	4	—	—	—	1	13
障害者福祉施設	—	1	—	—	—	—	2	—	—	3
学 校	2	1	—	—	5	—	114	—	2	124
保育園 幼稚園	1	3	—	1	—	—	22	—	3	30
病 院	—	—	—	1	7	—	2	—	1	11
そ の 他	—	—	—	—	3	—	4	—	—	7
小 計	3	13	—	2	19	—	144	—	7	188
個 人	2	—	2	6	103	1	40	—	2	156
合 計	5	13	2	8	122	1	184	—	9	344

エ 健康診断

感染症発生時に、法第 17 条に基づき、患者・関係者に対し健康診断を実施した。

(結核に関するものは別途記載)

検便実施状況（表 1-4）

区 分	検査件数	陽性者総数	内 訳	
			大腸菌感染症 腸管出血性	赤痢
総 数	31	—	21	10
病後経過者	11	—	9	2
患者関係者	20	—	12	8

オ 施設調査

平常時における感染症予防対策の充実を図ることを目的とし、集団生活が行われている施設の感染症対策の実態を把握するため、市内の高齢者入所施設（105 施設）に対して調査票記入による現状調査と、訪問調査を実施し、あわせて予防対策及び発生時の拡大防止対策の普及啓発を行った。

カ 八王子市小児感染症サーベイランス事業

八王子市における小児感染症にかかわる情報を迅速に収集・分析・発信し、小児感染症のまん延を防止するために、感染症発生動向調査事業の定点である 4 医療機関に市独自の 10 医療機関を加えた市内の小児科 14 医療機関の協力により、毎週報告を集約しホームページで情報を発信している。

キ 感染症予防連絡会

八王子市内の感染症予防対策を推進し、市関係部署、関係機関の情報連絡体制の確立と連携の強化を図るため、感染症予防連絡会を開催している（平成 21 年度は 3 回開催）。

ク 健康教育

感染症の発生予防とまん延防止対策を普及啓発するため、健康教育を実施している。

感染症健康教育実施状況（表1-5）（結核とHIVに関するものは別途記載）

実施日	テーマ	講師	対象者	参加者数
21年7月2日	子ども施設の衛生管理講習会	医師	保育園幼稚園関係者	84
7月14日	食品衛生実務者講習会	保健師	飲食店、給食施設関係者	420
8月25日	新型インフルエンザについて	医師	小中学校長	108
9月3日	新型インフルエンザについて	保健師	市職員	24
9月4日	新型インフルエンザについて	国立感染症研究所 安井良則氏	福祉施設関係者	184
9月14日	新型インフルエンザについて	医師	介護サービス関係者	70
9月29日	感染症予防講習会	医師・保健師	児童福祉関係者	13
9月29日	感染症予防について	保健師	圏域保健師	13
10月13日	美容所衛生管理者講習会	保健師	美容所従事者	186
10月13日	感染症予防について	保健師	市内精神病院師長	19
10月19日	感染症予防講習会	医師・保健師	小中学校職員	72
10月21日	旅館業衛生管理者講習会	保健師	旅館業関係者	34
10月22日	感染症予防講習会	医師・保健師	児童福祉関係者	43
10月26日	理容所衛生管理者講習会	保健師	理容所関係者	148
11月12日	性風俗関連特殊営業関係者講習会	医師	性風俗関連特殊営業関係者	100
11月17日	食品衛生実務者講習会	保健師	飲食店、給食施設関係者	142
11月18日	知っておきたい感染症対策	保健師	環境衛生自治指導員	25
12月8日	感染症予防講習会	医師・保健師	高齢者福祉施設関係者	26
22年2月8日	食品衛生協会自治指導員講習会	医師・保健師	食品衛生協会自治指導員	41
3月18日	感染症への対応	保健師・看護師	保健センター職員	35

ケ インフルエンザ様疾患調査

国の通知に基づき、保健所管内において、その年初めて臨時休業（インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等）があった場合には、その学校に在籍する児童・生徒のインフルエンザ疾患調査（うがい液検査）を行っているが、21年度は新型インフルエンザの流行対策を実施したため、従来の調査は実施しなかった【新型インフルエンザ対策に関しては93～101ページ参照】。

集団かぜによる学級閉鎖状況（各月あたり延べ数）（表1-6）

年度	区分	総数	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
20年度	学校数	109	—	—	—	2	47	29	31
	学級数	329	—	—	—	4	122	81	122
21年度	学校数	304	44	105	106	27	9	13	—
	学級数	1,484	186	748	452	58	18	22	—

コ 肝炎ウイルス検査、相談及び陽性者への保健指導

過去に検査を受けたことがなく、かつ職場等でも検査を受ける機会のない39歳以下の市民を対象に、B型肝炎及びC型肝炎ウイルス検査を市内医療機関に委託して無料で行うとともに、陽性者（健康増進法による検診対象者を含む。）に対しては、治療勧奨、肝炎手帳の配布、医療費助成の案内等、保健指導を行った。また、ウイルス肝炎に関し健康不安を抱える市民などからの相談を受け、検診の勧奨や正しい知識の普及に努めた。

ウイルス肝炎検査等実施状況（表1-7）

（単位 人）

検査			陽性者			陽性者への保健指導			相談
計	B型	C型	計	B型	C型	計	B型	C型	
355	178	177	9	8	1	9	8	1	278

(2) エイズ対策

エイズ予防のための知識の普及とHIV感染に対する不安、悩み等の解決を図るため、医師、保健師による相談（電話・来所）及び抗体検査を行った。平成17年10月からHIV迅速検査を開始し、月1回（第1水曜日）、通常の抗体検査と併せて実施している。

エイズ抗体検査時、希望者には併せて、梅毒、クラミジア感染症、淋菌感染症の性感染症の検査も実施した。

健康教育については若い世代と男性同性愛者への啓発活動を重点項目とし、エイズ・ピア・エデュケーションを行った。エイズ・ピア・エデュケーター養成講座を16回実施し、24名のエデュケーターを養成した。

ア エイズ相談・HIV抗体検査実施状況（表1-8）

年度	相談									HIV抗体検査			性感染症検査								
	総数			電話			来所						梅毒血清検査			クラミジア抗体検査			淋菌検査		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
20年度	4,249	2,522	1,727	482	287	195	3,767	2,235	1,532	1,758 (643)	1,039	719	1,432	822	610	1,421	821	600	418	282	136
21年度	2,949	1,791	1,158	355	225	130	2,594	1,566	1,028	1,211 (421)	732	479	980	578	402	979	578	401	391	234	157

（注）（ ）内は迅速検査実施分（再掲）

イ エイズ健康教育実施状況（表1-9）

実施月日	テーマ	講師	対象者	参加人員
21年4月 ～22年3月 (計16回)	HIV/AIDS ピアエデュケーター養成講座	保健師	学生	132
21年4月23日	HIV/AIDSと共に生きる 基礎講座 地域で支える療養支援	東京医科大学八王子医療セ ンター 田中朝志氏 保健師	在宅介護支援者等 医療機関関係者	46
5月10日	学生天国	保健師、 ピアエデュケーター 12名	学生天国来場者	500
6月18日	HIV/AIDSの正しい知識、 予防法を理解する	保健師、 ピアエデュケーター 9名	東京工業高等専門 学校	226
6月23日	HIV/AIDSの正しい知識、 予防法を理解する	保健師、 ピアエデュケーター 6名	杏林大学学生	200
7月16日	HIV/AIDSの正しい知識、 予防法を理解する	保健師、 ピアエデュケーター 7名	多摩職業能力開発 センター八王子校	38
10月1日	HIV/AIDSと共に生きる 基礎講座 地域で支える療養支 援	東京医科大学八王子医療セ ンター 田中 朝志氏 保健師	在宅介護支援者等	9
10月18日	帝京大学学園祭	保健師、 ピアエデュケーター 13名	学生	500
22年3月9日	HIV/AIDSについて パートナーとの付き合い方	保健師、 ピアエデュケーター 10名	中学3年生	50
3月11日	セクシャリティに関する相談を 受けたとき ～基礎知識と相談の受容につ いて～	エイズ予防財団流動研究員 砂川秀樹氏 レインボーカレッジ 金井史香氏	学校関係者	13
3月16日	HIV/AIDSについて パートナーとの付き合い方	保健師、 ピアエデュケーター 7名	中学3年生	220

(3) 結核対策

結核の予防、早期発見、再発防止及び感染拡大防止を図るため、患者の登録、入院の勧告、就業制限、療養支援、治療終了後の管理検診及び家族・接触者に対する検診・保健指導を実施し、並びに医療費の公費負担事務を行った。平成16年10月からは、治療完了支援としてDOTS（Directly Observed Treatment Short-course:直接監視下短期化学療法）事業を行っている。

ア 結核登録者状況

年末現在登録者数（活動性分類、受療別）（表1-10）

（平成21年12月31日現在）

区分	登録患者数												潜在性結核 (別掲)	
	登録者 総数	活動性結核										活動性 不明		
		総 数	肺結核活動性						肺外結核活動性	不 活 動 性 結 核				
			総 数	初回 治療	再 治療	結核菌陽性 その他の	菌陰性・その他							
20年総数	259	87	72	35	32	3	28	9	15	146	26	14	20	
21年総数	239	91	73	29	26	3	30	14	18	121	27	8	34	
入院中	24	24	17	11	10	1	4	2	7	—	—	—	—	
外来治療中	66	66	56	18	16	2	26	12	10	—	—	8	—	
治療なし	145	—	—	—	—	—	—	—	—	121	24	—	34	
不明	4	1	—	—	—	—	—	—	1	—	3	—	—	

年末現在登録者数（活動性分類、年齢階級別）（表1-11）

（平成21年12月31日現在）

区分	登録患者数											潜在性結核 (別掲)	
	登録者総数	活動性結核									不活動性結核		
		総数	肺結核活動性						肺外結核活動性				
			総数	喀痰塗沫陽性			結核菌陽性 その他の	菌陰性・その他					
	総数	初回治療	再治療								治療中	観察中	
20年総数	259	87	72	35	32	3	28	9	15	146	26	14	20
21年総数	239	91	73	29	26	3	30	14	18	121	27	8	34
～ 4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
5～ 9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10～ 14	1	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
15～ 19	3	2	2	—	—	—	1	1	—	1	—	—	2
20～ 29	28	9	9	2	2	—	3	4	—	17	2	1	5
30～ 39	32	1	8	5	5	—	2	1	3	17	4	3	7
40～ 49	41	1	12	7	6	1	4	1	5	20	4	2	12
50～ 59	27	17	8	2	2	—	2	4	1	13	5	2	5
60～ 69	43	9	10	3	3	—	5	2	3	26	4	—	1
70～	64	13	23	9	7	2	13	1	6	27	8	—	—

新登録患者数（活動性分類、受療別）（表1-12）

（平成21年1月1日～12月31日）

区分	登録患者数									潜在性結核 (別掲)
	登録者総数	活動性結核								
		総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	
			総数	喀痰塗沫陽性			結核菌陽性 その他の	菌陰性・その他		
	総数	初回治療	再治療							
医療形態	20年総数	107	85	43	40	3	26	16	22	23
	21年総数	95	75	25	23	2	33	17	20	18
	入院中	41	31	23	21	2	7	1	10	—
	外来治療中	52	43	2	2	—	26	15	9	18
	治療なし	1	1	—	—	—	—	1	—	—
不明	1	—	—	—	—	—	—	1	—	

新登録患者数（活動性分類、年齢階級別）（表 1 - 1 3）

（平成21年 1 月 1 日～12月31日）

区 分	登 録 患 者 数								潜 在 性 結 核 (別掲)
	登 録 者 総 数	活 動 性 結 核							
		肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀痰塗沫陽性			結 核 菌 陽 性	そ の 他		
総 数	初 回 治 療		再 治 療						
20年総数	107	85	43	40	3	26	16	22	23
21年総数	95	75	25	23	2	33	17	20	18
0～4	—	—	—	—	—	—	—	—	1
5～9	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10～14	1	1	1	1	—	—	—	—	—
15～19	2	2	—	—	—	1	1	—	—
20～29	12	11	3	3	—	3	5	1	3
30～39	10	7	2	2	—	3	2	3	5
40～49	11	8	2	2	—	4	2	3	5
50～59	11	10	2	2	—	4	4	1	4
60～69	11	7	2	2	—	3	2	4	—
70～	37	29	13	11	2	15	1	8	—

結核検診実施状況（表 1 - 1 4）

区 分	検 査 内 容						結核有所見	
	総 数	ツベルクリン 反応検査	Q F T 検査	エ ッ ク ス 線 間 接 撮 影	エ ッ ク ス 線 直 接 撮 影	喀 痰 検 査	結 核 患 者	要 観 察 者
2 0 年 度 総 数	2,620	3	334	124	2,159	—	—	15
2 1 年 度 総 数	2,643	18	252	124	2,249	—	1	—
接 触 者 検 診	790	18	252	—	520	—	1	—
患 者 家 族	150	8	31	—	111	—	1	—
接 触 者	640	10	221	—	409	—	—	—
管 理 検 診	42	—	—	—	42	—	—	—
結核対策特別促進事業	146	—	—	—	146	—	—	—
受 託 検 診	1,665	—	—	124	1,541	—	—	—

イ 結核患者に対する医療

感染症の診査に関する協議会において、結核医療の適否について診査を行った。この結果、承認された者に対して、医療費公費負担を実施した。

結核医療費関係公費負担診査状況（表 1-15）

区 分	一般患者（37条の2）			入院患者（37条）		
	申請	承認	不承認	申請	承認	不承認
20年度総数	170	170	—	120	120	—
21年度総数	157	156	1	92	92	—
初 回	98	98	—	30	30	—
継続再発	59	58	1	62	62	—

ウ 結核地域DOTS事業支援状況（平成16年10月開始）（表 1-16）

区分	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	計
20年度	18	11	98	127
21年度	24	5	76	105

Aタイプ：治療中断リスクが高い患者…保健所来所、保健師その他関係者の自宅訪問、調剤薬局等で
ほぼ毎日服薬確認

Bタイプ：服薬支援が必要な患者…保健所の来所または調剤薬局等で服薬確認

Cタイプ：A、Bタイプ以外の患者…電話・手紙・調剤薬局等で服薬確認

エ 結核健康教育実施状況（表 1-17）

実施月日	テーマ	講師	対象者	参加人数
21年7月8日	結核の基礎知識と検診について	医師・保健師	学校関係者	11
7月21日	結核の基礎知識と検診について	医師・保健師	会社関係者	18
11月17日	結核予防講習会（服薬支援のために）	医師・保健師	薬局関係者 在宅介護支援関係者	36

2 受託検診

一般の医療機関や検診機関では対応が困難な障害者通所施設の通所者などを対象に、所内で健康診断を行った。

また、保健所に来所できない老人福祉施設については、検診車で検診を行った。

受託検診（障害者施設等）実施状況（表 2-1）

区 分	実施回数	総 数	エックス線	
			所 内	所 外
20年度	44	1,657	689	968
21年度	44	1,665	716	949

3 障害児等支援

(1) 療育相談事業

平成19年度から自立支援医療（育成医療）や小児慢性疾患の医療費助成の申請・受理を保健所で実施し、長期にわたり療養を必要とする子どもや重度心身障害児（者）の療養上の相談や講演会、患者会支援等を行っている。

ア 療育相談事業

保健師による家庭訪問や面接相談を行い、療養上の相談に応じている。

また、東京都で実施している「在宅重症心身障害児（者）訪問事業」の申請・経由の窓口であり、必要に応じて社会資源の紹介、関係機関調整などを実施している。

(表3-1)

年度	区 分	家庭訪問 (延べ)	面接相談	電話相談	その他の相談	関係機関連絡
21年度	心身障害児（者）	50	13	135	34	177
	(再掲) 重症心身障害児（者）	(47)	(8)	(111)	(34)	(135)
	長期療養児	2	2	63	2	43

イ 講演会

(表3-2)

開催日	会場	内 容	参加人数
21年9月25日	保健所	「ダウン症の子育て～乳幼児期から青年期～」 講師 健康科学大学福祉心理学科 池田由紀江教授	49名 保育あり
12月1日	保健所	「慢性腎疾患のある子どもを安心して育てるために」 講師 東京都立清瀬小児病院 坂井智行医師	11名 保育あり

ウ 障害児グループ支援

昭和61年から開催していた「ダウン症児を持つ親子の会（ひよこの会）」が、平成14年度から準備期間を経て、平成16年度に自主グループとなった。保健所は、会場提供、企画の相談、代表者のサポートなどの支援を継続実施している。

(表3-3)

会 場	開催回数	参加人数(延数)	内 容
保 健 所	年間11回	141組 265名	クリスマス会、音楽コミュニケーション、歯科相談、からだで遊ぼう、交流会、先輩ママの話等

エ 在宅重症心身障害児（者）訪問事業

(表 3-4)

年 度	対象者数	訪問件数	所内相談	電話相談	その他の相談
21年度	16	47	8	111	34

オ 在宅重症心身障害児（者）訪問事業関係機関連絡

東京都が事業委託している「西部訪問看護事業部」との全体連絡会 1 回及び、個別ケースカンファレンスを44回実施した。

(表 3-5)

年 度	保健関係	医療関係	福祉関係	その他
21年度	13	94	23	5

4 歯科保健

歯や口の健康を保つことは、単に食物を咀嚼することにとどまらず、食事や会話を楽しむなど豊かな人生を送るための基礎となり、むし歯や歯周病予防は、日常生活習慣の改善や自己管理能力の向上が重要となるため、各種研修会など、あらゆる機会を利用して、普及啓発に努めた。

また、歯科保健サービスを受ける機会の少ない障害者を対象に、障害者歯科保健推進事業を実施し、障害者の日常生活に根ざした歯科保健医療の環境づくりを推進した。

(1) 障害者歯科保健推進事業

ア 障害者歯科相談

(ア) 歯科保健指導

受託検診受診者を対象に歯みがきの自立や口腔の健康保持・増進を目指して、歯科保健指導を行った。

(イ) 訪問歯科保健指導

在宅障害者、難病患者等に訪問指導を行った。

障害者歯科保健指導 (表 4-1)

種 別	障害者歯科保健指導									事後指導		訪問歯科保健指導						
	対 象		実 施 施 設 数	実 施 人 数	障 害 児	心 身 障 害 者	精 神 障 害 者	難 病 患 者 等	実施回数		経過視察		実 施 回 数	実 施 人 数	延 べ 人 員	障 害 児	難 病 患 者	そ の 他
	施 設 数	利 用 者 数							保 健 所 内	保 健 所 外	実 施 回 数	実 施 人 数						
20年度	49	695	38	522	—	522	—	—	32	8	8	138	9	5	9	—	9	—
21年度	48	723	35	509	—	509	—	—	32	11	10	168	3	3	3	—	3	—

イ 講習会開催状況

障害者施設職員等に講習会を実施し、歯みがき支援及び摂食嚥下の必要性を伝えた。

講習会開催状況（表 4 - 2）

開催施設数	実施回数	内 容	参加人数
6	6	口腔ケア・摂食嚥下	222

(2) 歯科保健普及事業

各種歯科保健活動の支援

ア 保育所・幼稚園の歯科保健に対する取組状況を把握し支援するため、歯科健診結果等を収集し、分析した。

イ 保育所・幼稚園の歯科保健活動の充実のため担当職員を対象に研修会を開催した。

ウ 市内在住・在勤の方を対象に「地域歯科口腔保健研修会」を開催し、普及を図った。

歯科保健普及対策状況（表 4 - 3）

区 分	内 容	実施回数	参加人数
歯 科 保 健 活 動 支 援	保育園・幼稚園歯科保健研修会 「食べる力の発達が『生きる力』を育てる」 芳賀デンタルクリニック院長 芳賀定氏	1	56

(3) 電話・来所相談

相談状況（表 4 - 4）

計	来 所	電 話
51	7	44

5 環境公害保健

(1) 光化学スモッグ被害対策

保健所は、光化学スモッグによると思われる健康被害の届出を受けた場合は、被害状況の把握及び必要に応じて現地調査を行っている。なお、平成21年度の光化学スモッグによる健康被害の届出件数は0件であった。

(2) 大気汚染障害者認定審査会

大気汚染に係る健康障害者の医療費助成を行うため認定審査会を設置し、月 1 回審査を行った。

平成22年 3 月末現在の八王子市の認定者数は4,693人であった。

平成21年度大気汚染医療費助成申請件数（表 5 - 1）

区 分	総数	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	21年1月	2 月	3 月
新 規	961	126	111	132	85	69	63	65	88	55	44	59	64
更 新	948	85	61	59	49	84	86	85	83	59	68	135	94

(3) アレルギー講演会

アレルギー性疾患及び療養に関する知識・技術の普及を行うため講演会を開催した。

(表5-2)

開催日	実施場所	内 容	参加人数
22年1月28日	八王子市保健所	講演会「花粉症に負けないために」 講師：八王子市医師会 大島耳鼻咽喉科気管食道科クリニック 大島清史 医師	45人 保育あり

6 特殊疾病対策

特殊疾病の患者・家族は、疾病の特殊性から医療面・経済面・介護面などに種々の問題を抱え、長期の療養生活を余儀なくされている。

保健所では医療機関、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等の地域の関係機関とのネットワークの充実を図りながら、患者・家族の医療や療養生活に関する問題に対し支援を行なっている。

平成19年度から難病医療費助成の申請窓口が保健所に移り、早期の相談対応が可能になった。

(1) 特殊疾病対策事業訪問相談

特殊疾病対策事業訪問等相談実施状況（表6-1）

区 分		総 数	家庭訪問	所内相談	電話相談	その他の 相 談	関係機関 連 絡
20年度		2,250	406	220	723	206	695
21年度		2,440	357	237	710	546	590
内 訳	保 健 師	2,388	309	236	708	546	589
	理学療法士	46	46	—	—	—	—
	栄 養 士	2	—	1	1	—	—
	歯科衛生士	4	2	—	1	—	1

(2) 難病講演会

難病講演会実施状況（表6-2）

開催日	内 容	参加人員
21年9月17日	「脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の病気の理解と対応」 講師：東京都立神経病院 医師	42人
11月14日	「神経難病患者の発語・構音障害について～リハビリテーションの 実際～」 講師：国立精神・神経センター病院 言語聴覚士	34人
12月14日	難病療養支援交流会「難病と共に生きる」 (療養者・家族・療養支援関係者の意見交換)	39人

(3) 患者会支援育成

平成21年度は喜楽会・さわやか会（パーキンソン病・神経難病患者交流会）、八王子にじの会（脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の療養者・家族の会）、あいの会八王子（網膜色素変性症の療養者・家族）、八王子を中心に活動している患者会3団体を支援した。

患者会開催状況（表6-3）

区 分	回 数	参加延人員
20年度	28	721
21年度	25	716

(4) 医療機器貸与及び訪問看護

近年は気管切開、人工呼吸器装着の状態在宅療養を希望する事例がまれではなくなっており、これに伴い吸引器・吸入器の貸与を希望する人も多い。東京都で実施している医療機器貸与事業を利用しての方に対し、訪問看護ステーションによるサービスだけでは不足する場合に訪問看護師を派遣した。

これらの制度を活用している事例では多機関多職種の支援を得て在宅療養をしているため、保健師が在宅療養に係る関係機関の連絡調整を行い、患者・家族の安定した療養環境の整備に努めている。

医療機器貸与実施状況（表6-4）

区 分	貸与患者数	訪問看護 導入患者数	機器貸与件数		訪問看護実績
			吸 引 器	吸 入 器	
20年度	51	14	50	25	480
21年度	40	9	40	18	338

(5) 在宅療養支援地域ネットワーク事業

難病の地域ケア・ネットワークづくりをめざして「難病保健医療福祉調整会議」及びその下部組織として、難病実務者会議を設置している。

医師会、障害者福祉・介護保険の担当部署、社会福祉協議会、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、及び医療機関等の関係機関の実務者により構成する会議を開催し、研修や事例検討、情報交換などを通して地域の課題を検討する場としている。

在宅療養支援ネットワーク事業実施状況（表6-5）

開 催 日	会 議 名	内 容
21年5月26日	実 務 者 会 議	実務代表者による地域課題検討 8人
6月27日	実務者会議（研修会）	「神経難病療養者のための呼吸リハビリ」 29人
11月17日	実務者会議（研修会）	シンポジウム「神経難病の在宅療養を考える」 70人
22年2月17日	難病保健医療福祉調整会議	・事業報告、次年度計画（案）について ・難病療養支援課題の検討、情報交換

(6) 在宅療養支援計画策定・評価事業

重症難病療養者対策の一つとして要支援者に対する各種サービスの適切な提供をはじめ個々の病状や介護力に応じたきめの細かな支援を行うために、在宅療養支援計画策定・評価事業を実施した。

なお、評価委員会は保健対策課長をはじめとする保健所職員のほか、アドバイザーとして東京都神経科学総合研究所職員の協力を得て実施している。

(7) 緊急一時入院事業

東京都の緊急一時入院事業を利用し家族の介護疲れや病气入院等により、介護が困難になったとき、患者本人を一時的に入院させることができる病床を確保して、安定した在宅療養が継続できるよう申請受理・調整を行った。

緊急一時入院制度利用状況（表 6－6）

区 分	延利用者数	延利用日数
20年度	15	301
21年度	17	279

7 精神保健福祉

精神保健福祉活動の第一線機関として、精神障害の早期発見・早期治療の促進及び精神障害者の社会復帰・社会参加を援助するため、相談、訪問指導、精神保健福祉に関する教育、広報活動、患者・家族等の組織育成等の事業を行っている。

なお、庁内の関係部署や地域の関係機関と日常的な連携をはかり、安心して暮らしやすい地域づくりを目指している。

(1) 地域精神保健福祉連絡協議会及び専門部会

精神障害に対する地域ケアの充実と地域住民の心の健康の保持増進を総合的かつ効果的に進めることを目的に、地域の関係機関の代表者による協議機関として、八王子市地域精神保健福祉連絡協議会を設置している。

また、具体的な課題について協議・検討するため、下部機関として、関係機関の実務担当者による「専門部会」を設置している。

専門部会主催で開催する「八王子市精神保健福祉講座」は、市内の関係機関が精神障害者の理解を深め、相互の連携構築を目的に、毎年1回実施している。

地域精神保健福祉連絡協議会（表 7－1）

開催日	内 容
21年 7 月 27 日	①八王子市地域精神保健福祉連絡協議会専門部会（平成20年度実施報告及び21年度実施計画） ②八王子市障害者福祉課精神保健福祉事業（平成20年度実施報告及び21年度実施計画） ③八王子市保健対策課（保健所）精神保健福祉事業（平成20年度実施報告及び21年度実施計画） ④八王子市健康福祉部生活福祉課における居宅生活安定化支援事業について ⑤八王子市における精神障害者退院促進支援について（協議） ⑥八王子市におけるうつ自殺対策について（協議）

地域精神保健福祉連絡協議会専門部会（表 7－2）

開催日	内 容
21年 8 月 6 日	①平成21年度八王子市地域精神保健福祉連絡協議会実施報告 ②平成20年度専門部会報告 ③平成21年度専門部会計画（協議）
22年 2 月 4 日	①平成21年度第1回専門部会報告及び第10回精神保健福祉講座実施報告 ②平成22年度専門部会計画

(2) 精神保健福祉相談

精神疾患に関する診断や対応方法等について、専門医等による一般精神保健福祉相談（月2回）、老人精神保健相談（隔月1回）、酒害相談（隔月1回）及び思春期相談（月1回）を実施した。保健師による家庭訪問、来所面談、電話相談等は随時実施している。

精神保健福祉相談・訪問指導（専門医による）（表7-3）

年 度	精 神 保 健 福 祉 相 談							精 神 保 健 福 祉 訪 問 指 導							
	実 施 回 数	実 人 員	延 人 員	内 訳				実 施 回 数	実 人 員	延 人 員	内 訳				
				老 人 精 神 保 健	ア ル コ ー ル	思 春 期	一 般 精 神 保 健				老 人 精 神 保 健	ア ル コ ー ル	思 春 期	一 般 精 神 保 健	そ の 他
20年度	47	111	114	17	10	31	56	1	2	2	—	—	—	2	—
21年度	48	113	119	17	11	31	60	2	2	2	—	—	—	2	—

精神保健福祉延相談数（保健師による）（表7-4）

区 分	社会復帰	老人精神	依存症	児童・思春期	心の健康づくり	一般その他の 困難相談	合計	
20年度	327	287	255	220	68	3,917	5,074	
21年度	383	366	161	179	147	4,084	5,320	
内 訳	家 庭 訪 問	39	51	11	16	48	292	457
	面 接 相 談	60	32	31	41	25	398	587
	電 話 相 談	165	129	83	89	56	1,986	2,508
	文 書 等 相 談	13	4	3	6	1	507	534
	関 係 機 関 連 絡	106	150	33	27	17	901	1234

未治療・治療中断患者等地域支援事業（困難事例検討会）

保健師が地区活動を実施している対象者で、多問題で対応が困難な未治療・治療中断事例を東京都立多摩総合精神保健福祉センターの医師や職員をスーパーバイザーとして事例検討し課題解決につなげている。

平成21年度は12回実施した。

(3) 精神保健福祉法に基づく医療保護入院

精神保健福祉指定医に精神障害があると診断され、かつ医療及び保護のため、入院の必要があると認められた場合、本人の同意がなくても、保護者の同意があれば、入院（医療保護入院）させることができる。

当所に報告された管内の精神病院（16か所）が扱った医療保護入院数は表のとおりである。

医療保護入院届出数（法第33条第1項）（表7-5）

年 度	管内 総計	症状性を含む 器質性 精神障害			精神作用物質 使用による精神及び 行動の障害				統合失調症・分裂型障害 及び妄想性障害	気分（感情）障害	ストレス関連障害等	神経症性障害	成 人 の 障 害	精 神 遅 滞	そ の 他 の 精 神 障 害	て ん か ん	そ の 他
		小 計	認 知 症	認 知 症 以 外	小 計	ア ル コ ール 使 用	覚 せい 剤	そ の 他 の 使 用									
20年度	1,255	457	386	71	59	50	2	7	528	135	29	8	32	-	7	-	
21年度	1,475	605	527	78	74	57	12	5	529	176	31	30	30	-	-	-	

(4) 警察官通報等による保護の申請、通報の受理

警察官等は、精神障害のために自傷他害のおそれがある者を発見したときは、直ちに、もよりの保健所長を経由して知事に通報することになっている。

精神保健法に基づく診察及び保護の申請または通報受理数（表7-6）

年 度	管内総数	内 訳		
		第23条 （一般人の申請）	第24条 （警察官の通報）	第26条の2 （精神病院管理者の届出）
20年度	82	2	80	-
21年度	65	-	65	-

(5) 精神障害者社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）

回復途上の精神障害者がスポーツ、創作、料理、ミーティング、屋外活動等の集団生活指導を通じて、社会生活の適応と対人関係の改善を図ることを目的として、保健所で月3回行っている。

また、グループワークの他、個別相談会を年3回実施し、個別のアセスメントを行い目標の確認や卒業後の生活のイメージを持つなどステップアップを図った。

さらに、家族懇談会も年2回開催し、病気の理解を深めるとともに、家族にグループ活動を理解してもらう場となった。グループ運営会議を年1回実施し、事業方針及び実績の評価を行った。

社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）実施状況（表7-7）

年 度	実施回数	参 加 者 数	
		実参加者（人）	延べ参加者（人）
20年度	36	19	409
21年度	36	23	387

社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）参加者の動向（表7-8）

年 度	区 分	総 数	就職(学)	家庭内適応	他部門	中 断	継 続	そ の 他	男 女 計
20年度	男	9	1	-	-	-	7	1	18
	女	9	1	-	-	-	7	1	
21年度	男	9	-	2	4	-	2	1	16
	女	7	-	2	5	-	-	-	

社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）事例検討会

個別アセスメントグループのグループワーカー、関係機関職員、東京都立多摩総合精神保健福祉センター職員、保健師等で利用しているメンバーの事例検討会を平成21年度は5回実施した。

(6) 思春期の課題を抱える家族グループ

社会的引きこもり等の課題を抱える家族を対象に、家族がより良い対応やコミュニケーションの工夫を学び、「引きこもり」等の理解と回復を目的とする親のためのグループワークを実施（月1回開催）している。グループ運営会議を年1回実施し、事業方針及び実績の評価を行った。

思春期の課題を抱える家族グループ実施状況（表7-9）

年 度	実施回数	参加者数	
		実参加者(人)	延参加者(人)
20年度	12	24	95
21年度	12	24	112

(7) 組織育成・普及啓発事業等

ア 講演会

地域住民や患者家族等を対象に、精神保健福祉に関するさまざまな問題について、講演会を実施し、精神保健福祉知識の普及・啓発を図ることを目的としている。

精神保健福祉講演会開催状況（表7-10）

開催日	対象	テーマ	講師	参加人数
21年10月2日	一般市民 関係者	こころの健康フェスティバル講演会 統合失調症の理解と対応 (わかくさ家族の会と共催)	駒木野病院 院長 菊本弘次氏	187
10月27日	庁内関係 者等	うつ病の理解と対応 ～自殺対策 窓口での気づきを 促す～	東京都立多摩総合精神保健福祉セ ンター 広報援助課長 向山晴子氏	71
11月5日	家族	拒食症と過食症	えびすさまクリニック 山登敬之 医師	39
12月15日	関係者	地域で生活するということ (第10回精神保健福祉講座)	訪問看護ステーション 地域家族会	46
22年1月19日	関係者	依存症の理解と対応	原宿カウンセリングセンター 高橋郁絵 臨床心理士	66
3月8日	一般市民 関係者	きれない子供の育て方	水島広子こころの健康クリニック 水島広子 医師	154

イ こころの健康フェスティバル

精神保健に関する知識の普及啓発を図り、地域住民の心の健康の保持増進を目指して開催した。

市内の精神科病院・診療所や精神障害者社会復帰施設、民生児童委員、家族会等と協働で企画運営することで、関係機関のネットワークづくりにも寄与した。一般市民への普及啓発をよりすすめるために、会場をクリエイトホールに移し実施した。

こころの健康フェスティバル実施状況（表7-11）

開催日	会場	内容	参加人数
21年10月2日	クリエイトホール	内容：舞台発表・作品展示・バザー・相談コーナー等 参加協力機関：24団体（病院・医院9、社会復帰施設7、家族会2、八王子市民生委員・児童委員協議会、ボランティア団体2、八王子市社会福祉協議会、東京都立多摩総合精神保健福祉センター、八王子市障害者福祉課）	555

(8) 家族会支援

精神障害者の社会復帰の促進、自立と社会経済活動への参加の促進のため、精神障害者の家族会、認知症高齢者家族会に会場提供や技術支援を行っている。

家族会開催状況（表7-12）

会の名称	わかくさ家族の会	さーくる南	ふれあいの会
対象	八王子市の精神障害者を持つ家族	南大沢周辺の精神障害者を持つ家族	八王子市の認知症高齢者を持つ家族
保健所が支援した回数	6	1	4

8 保健師活動

保健師活動は、地域住民の健康の保持増進、疾病の予防と早期発見・健康回復及び社会復帰への援助などを目的として、地域の保健需要に基づき、感染症、精神、難病、障害児等に対応する。具体的な活動内容は家庭訪問、健康相談、健康教育、関係機関との連絡調整、保健活動推進のための企画、運営への参画、保健・医療系学生への教育、実習指導及び研究活動などである。

(1) 専門的・広域的対人保健活動

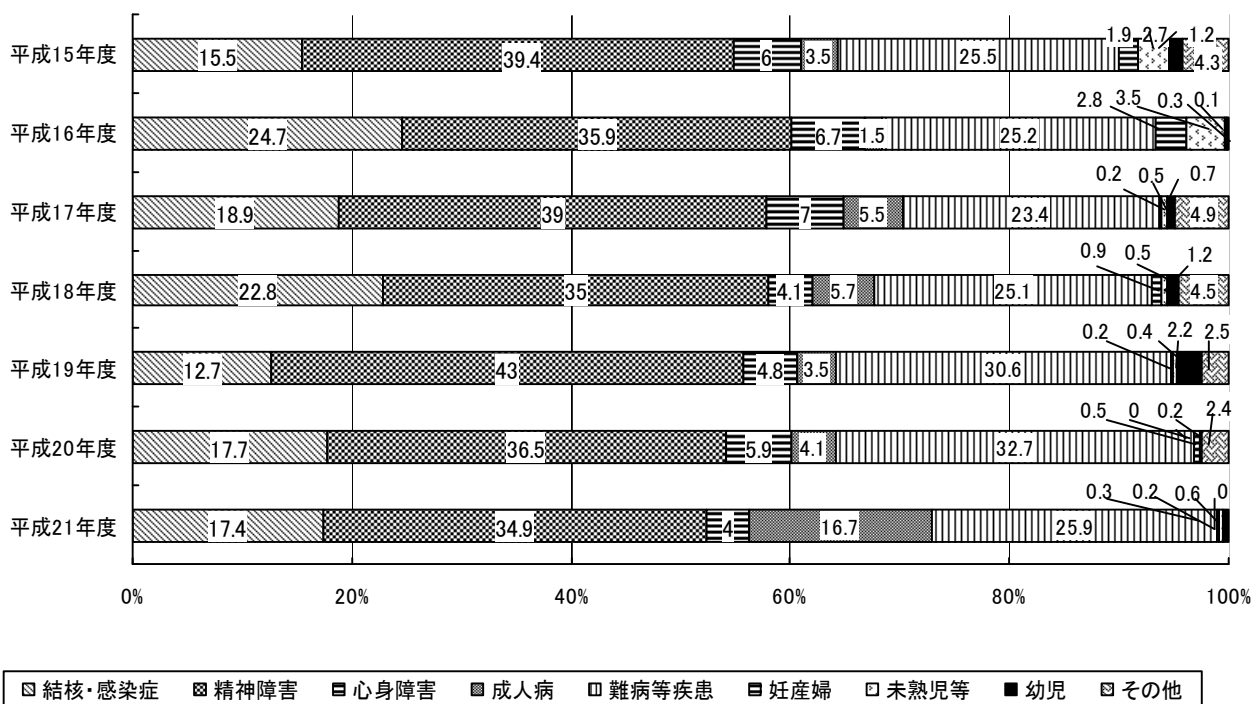
ア 保健指導体制

市内を8の地域に分割し地区担当保健師が対応している。また、処遇困難事例については業務担当リーダーと地区担当保健師が連携し複数で対応している。

イ 地区活動状況

保健師の家庭訪問対象の推移（平成15～21年度）（表8-1）

（単位 %）



保健師活動状況（表 8-2）

年 度	区 分	総 数	感 染 症 対 策 担 当			地 域 保 健 担 当												
			感 染 症	結 核	エ イ ズ	精 神 保 健 福 祉	心 身 障 害	生 活 習 慣 病	難 病	そ の 他 疾 患	妊 産 婦	乳 児	(再掲)			幼 児	そ の 他	
													未 熟 児	新 生 児	一 般 乳 児			
20 年 度	家庭訪問	1,223	23	187	6	446	72	50	364	36	6	-	-	-	-	3	30	
	所内相談	1,338	73	325	116	532	9	31	217	16	2	1	-	-	1	3	13	
	電話相談	6,323	544	1,295	396	2,685	109	140	718	125	12	20	-	2	18	25	254	
	文書その他の 相談	838	23	378	8	186	23	-	206	11	-	-	-	-	-	-	-	3
	関係機 関 連 絡	3,972	703	1023	21	1,245	209	18	689	24	6	1	1	-	-	3	30	
	合 計	13,694	1,366	3,208	547	5,094	422	239	2,194	212	26	22	1	2	19	34	330	
21 年 度	家庭訪問	1,308	46	172	9	457	52	218	309	30	4	3	-	1	2	8	-	
	所内相談	1,427	76	361	48	587	15	46	236	12	2	3	-	-	3	2	39	
	電話相談	9,654	4,064	1,177	329	2,508	198	175	709	189	9	22	2	3	17	16	258	
	文書その他の 相談	1,422	2	288	1	534	36	4	546	10	-	-	-	-	-	1	-	
	関係機 関 連 絡	3,148	517	496	51	1,234	220	10	589	-	4	2	2	-	-	-	25	
	合 計	16,953	4,705	2,494	438	5,320	521	453	2,389	241	19	30	4	4	22	27	322	

(注)心身障害に重症心身障害児(者)及び長期療養児を含む

学会報告状況(表 8-3)

学 会 名	係 名	演 題
全国地域保健師学術研究会	地域保健担当	組織力を人材育成に活かす ～保健所政令市移行を契機に八王子市保健師業務連絡会を立ち上げて～
東京都福祉保健医療学会	地域保健担当	八王子市保健所における医療保護入院者の入院届からの分析
日本エイズ学会	感染症対策担当	八王子市保健所におけるエイズ・ピア・エデュケーション活動について

(2) ヘルスプロモーションを推進するための活動

地域住民の健康の保持・増進を推進するため、セルフヘルプグループの育成・活動の支援を行った。
また、地域住民組織や関係団体等への支援を積極的に実施し、地域のネットワーク化に努めた。

地域住民・関係団体等への支援状況（表 8-4）

区分	関係機関・団体	回数	参加人数	支援内容
セルフヘルプグループ	精神 精神障害者地域家族会	11	347	精神障害者家族の交流や自主グループとしての会の運営等への支援
	難病 難病患者・家族交流会	25	716	セルフヘルプグループ交流会
	母子 ひよこの会	11	265	セルフヘルプグループ交流会
関係機関 関係支援	精神 八王子 P S W 研究会	12	…	連携会議
	精神 地域生活支援センター	1	…	地域生活支援センター活動報告会
	精神 障害者就労・生活支援センター	1	…	運営協議会
	精神 八王子精神科看護師長会	3	…	精神科病院看護師長の連絡、連携、研修会
	精神 グループホーム入居支援会議	6	…	入居支援
	精神 退院促進支援事業地域生活ケア会議	12	…	精神障害者の退院支援に関する検討
	難病 医師会	4	…	医師会難病訪問診療調整委員会
	難病 南多摩・八王子市保健所管内看護師長会	4	…	医療機関看護師長連絡、連携、研修会
	地域 地域包括支援センター連絡会	1	…	地域包括支援センターと高齢者支援課、その他関係機関との情報交換
	地域 地域包括支援センターブロック会議	7	…	地域包括支援センター職員、民生委員、老人会その他との情報交換

研修及び健康教育実施状況（表 8-5）

開催日	種別	内容	対象	参加人員
21年7月7日	精神	保健所の精神保健福祉活動について	社会適応訓練事業で職場体験中の中学生	4名

(3) 関係機関との連携

ア 保健センターの育児不安を持つグループのカンファレンスに参加し連携・協力した。

イ 南多摩保健所が二次保健医療圏内で進めている「うつ対策」などに圏域内の保健所として連携・協力した。

9 検査実施状況

(表9-1)

検査項目		20年度	21年度			
		総数	総数	内 訳		
				一般健康相談	受託検診	小規模 企業検診
総 数		9,998	10,520	—	10,520	—
尿検査	小 計	2,680	2,788	—	2,788	—
	蛋 白	670	697	—	697	—
	糖	670	697	—	697	—
	ウロビリノーゲン	670	697	—	697	—
	潜 血	670	697	—	697	—
	ケ ト ン 体	—	—	—	—	—
便検査	沈 渣	—	—	—	—	—
	小 計	—	—	—	—	—
	寄 生 虫 卵	—	—	—	—	—
喀痰検査	便 潜 血	—	—	—	—	—
	小 計	—	—	—	—	—
	結 核 菌 塗 沫	—	—	—	—	—
血液生化学的検査	結 核 菌 培 養	—	—	—	—	—
	小 計	7,230	7,618	—	7,618	—
	白 血 球 数	655	689	—	689	—
	赤 血 球 数	655	689	—	689	—
	血 色 素	655	689	—	689	—
	ヘマトクリット	655	689	—	689	—
	血 液 像	—	—	—	—	—
	血 沈	—	—	—	—	—
	全 血 比 重	—	—	—	—	—
	血液型(ABO式)	—	—	—	—	—
	血液型(Rh式)	—	—	—	—	—
	G O T	655	691	—	691	—
	G P T	655	691	—	691	—
	γ - G T P	655	691	—	691	—
	A L P	—	—	—	—	—
	Z T T	—	—	—	—	—
	T T T	—	—	—	—	—
	L D H	—	—	—	—	—
	総 蛋 白	—	—	—	—	—
	コレステロール	655	691	—	691	—
	中 性 脂 肪	655	691	—	691	—
	HDL コレステロール	655	691	—	691	—
	尿 素 窒 素	—	—	—	—	—
	尿 酸	27	26	—	26	—
	クレアチニン	—	—	—	—	—
	血 糖	653	690	—	690	—
	血 清 鉄	—	—	—	—	—
	総鉄結合能	—	—	—	—	—
	ワッセルマン反応	—	—	—	—	—
	ヘモグロビン	—	—	—	—	—
A t c	—	—	—	—	—	
生理学検査	心 電 図	88	114	—	114	—
	オ ー ジ オ	—	—	—	—	—

10 エックス線検査

(1) エックス線検査実施状況

事業別エックス線検査実施数（表10-1）

年 度	区 分	総 数	感染症法によるもの				
			患 者 家 族 検 診	接 触 者 検 診	管 理 検 診	受 託 検 診	結 核 対 策 特 別 促 進 事 業
20年度	直接撮影	2,159	119	413	27	1,533	67
	間接撮影	124	—	—	—	124	—
21年度	デジタル撮影	1,859	111	339	42	1,221	146
	直接撮影	390	—	70	—	320	—
	間接撮影	124	—	—	—	124	—

(注) デジタル撮影：所内DR撮影及び所外CR検診車分

(2) 医療監視

診療用エックス線装置備付届により医療法に基づいて、医療監視指導を実施した。

医療監視実施件数（表10-2）

区 分	総 数	診 療 所	歯科診療所	そ の 他
20年度	32	18	14	—
21年度	35	21	14	—

11 医療費助成

療育医療及び自立支援医療（育成医療）については申請受理・認定審査・支払事務を、大気汚染医療については申請受理・認定審査事務を、妊娠高血圧症候群等医療及び未熟児養育医療については認定審査・支払事務を、特殊疾病及び小児慢性疾患医療費助成等の経由事務については申請受理・東京都への進達事務を行い、患者等に対する適切な医療の提供と経済的負担の軽減を図った。

(表 11-1)

疾 病 名		21年度 申請受理 件数	21年度 認定件数	
総 数		6,941	6,818	
妊娠高血圧症候群等医療		6	6	
未熟児養育医療		118	118	
自立支援医療（育成医療）		98	98	
療育医療		—	—	
小 児 慢 性 疾 患	神経・筋疾患	34	34	
	慢性心疾患	96	95	
	膠原病	11	10	
	慢性腎疾患	47	46	
	内分泌疾患	106	105	
	糖尿病	31	31	
	先天性代謝異常	20	20	
	慢性血液疾患	22	19	
	悪性新生物	63	61	
	呼吸器疾患	15	15	
	消化器疾患	14	14	
	小児慢性疾患合計		459	450
特 殊 疾 病	神 経 系	多発性硬化症	66	66
		重症筋無力症	75	74
		スモン	6	6
		筋萎縮性側索硬化症	31	30
		脊髄小脳変性症	118	118
		パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺・大脳皮質基底核変性症・パーキンソン病）	425	414
		アミロイドーシス（原発性アミロイド症）	3	3
		後縦靭帯骨化症	120	108
		ハンチントン症	1	1
		モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	48	44
		多系統萎縮症（線条体黒質変性症・オリブ橋小脳萎縮症・シャイ・ドレーガー症候群）	49	49
		広範脊柱管狭窄症	29	27
		プリオン病	2	2
神経線維腫症（Ⅰ型/Ⅱ型）	13	12		

	亜急性硬化性全脳炎	-	-
	ライソゾーム病 (ファブリー病含む)	3	3
	副腎白質ジストロフィー	1	1
	進行性筋ジストロフィー	11	11
	脊髄性筋萎縮症	1	1
	脊髄空洞症	7	5
	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	25	25
	母斑症	7	7
	ミオトニー症候群	16	16
	ミトコンドリア病	4	4
	遺伝性 (本態性) ニューロパチー	8	8
	先天性ミオパチー	3	3
	神経系合計	1,072	1,038
膠原病	ベーチェット病	77	76
	全身性エリテマトーデス	234	233
	サルコイドーシス	64	62
	強皮症	96	95
	皮膚筋炎・多発性筋炎	60	60
	結節性動脈周囲炎 (結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎)	27	27
	高安病 (大動脈炎症候群)	17	17
	悪性関節リウマチ	16	16
	ウェゲナー肉芽腫症	2	2
	特発性大腿骨頭壊死症	39	32
	混合性結合組織病	52	51
	シェーグレン 症候群	53	44
	特発性好酸球増多症候群	-	-
	アレルギー性肉芽腫性血管炎	6	6
	強直性脊椎炎	11	11
	膠原病 合計	754	732
その他	再生不良性貧血	36	34
	特発性血小板減少性紫斑病	80	71
	潰瘍性大腸炎	514	501
	ビュルガー病	21	21
	天疱瘡	22	20
	クローン病	126	125
	劇症肝炎	3	2
	特発性拡張型 (うっ血型) 心筋症	46	44
	表皮水疱症 (接合部型及び栄養障害型)	-	-

	膿疱性乾癬	6	6
	原発性胆汁性肝硬変	83	78
	重症急性膵炎	13	12
	原発性免疫不全症候群	3	3
	特発性間質性肺炎	36	29
	網膜色素変性症	106	105
	肺動脈性肺高血圧症	3	3
	バッド・キアリ症候群	-	-
	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6	6
	ウィルソン病	5	5
	悪性高血圧	-	-
	骨髄線維症	5	4
	ネフローゼ症候群	62	57
	多発性嚢胞腎	15	14
	特発性門脈圧亢進症	4	3
	原発性硬化性胆管炎	3	3
	肝内結石症	2	2
	びまん性汎細気管支炎	12	12
	肥大型心筋症	4	2
	遺伝性QT延長症候群	-	-
	成人スティル病	13	13
	網膜脈絡膜萎縮症	4	4
	自己免疫性肝炎	42	38
	先天性血液凝固因子欠乏症等	22	22
	人工透析を必要とする腎不全	1,045	1,045
	その他 合計	2,342	2,284
特殊疾病合計		4,168	4,054
ウイルス肝炎	B型ウイルス入院医療	7	7
	C型ウイルス入院医療	19	19
	B型・C型インターフェロン治療	157	157
	ウイルス肝炎 合計	183	183
大気汚染医療	気管支ぜん息	1,909	1,909
	慢性気管支炎	-	-
	ぜん息性気管支炎	-	-
	肺気しゅ	-	-
	四種疾病の続発症	-	-
	大気汚染医療 合計	1,909	1,909

(注) 1 特殊疾病及び小児慢性疾患の複数の疾患名の申請については各1件として計上。

(注) 2 特殊疾病の重症申請は件数に含まない。

(注) 3 変更届等は件数に含まない。

